

広報

ぼし

キラキラ★たまみず

平成29年1月20日
第47号

昨年も熊本や鳥取、東北地方で地震が相次いで起きましたが、幸い、篠山市は大きな災害に見舞われることなく新年を迎えることができました。城北地区の皆様方も、ご家族お揃いで、お元気でお正月をお過ごしになられたこととお慶び申し上げます。

玉水まちづくり協議会は、設立後、7年が経過し、☆たまみずサロンや夏休み広場、キラキラ納涼まつりなどに、多くの方々のご支援をいただきながら取り組むことができました。

夏休みに、地域の方や鳴高校生に勉強を教えてもらつた「夏休み広場」の様子です。



また、子どもからおとな、高齢者までの幅広い年齢の方々のふれ合いを大切にした活動を行ってきました。活動内容は、学習支援や農業体験、グランドゴルフ、サロンなど多岐に渡っています

が、願いはただ一つ、「心のふれ合い」です。

これからも、城北地区にお住まいの皆様方の「心のふれ合い」を第一に考えた取り組みを進めていきますので、ご支援とご参加を心より願っています。



発行[玉水まちづくり協議会]

発行責任者：会長 前岡 弘國

連絡先：☎・Fax (079) 506-3163

城北地区的皆さん。明けましておめでとうございます。玉水まちづくり協議会も設立以来、早や8年を迎えようとしております。

去年、篠山市は、日本遺産・ユネスコに認定され、観光都市篠山として発展しつつあります。が、一方では、農業後継者問題等に苦慮しているのも現状です。我がまち協にも高齢化の波が押し寄せ、皆さんに満足なまちづくりが提供できているのか、不安を感じています。「自分たちの城北は、自分たちの手でまちづくりを」と、先輩の自治会長さんの言葉にありました。

本年は、若い力と共に、「玉水の里」城北を後世に残すべく、玉水まちづくり協議会にどうぞお力を貸し下さい。よろしくお願いして、新年のご挨拶とさせていただきます。

玉水まちづくり協議会 会長 前岡 弘國



たまみず幼稚園児の合唱に心が温まりました。

11月
5日(土)

スポーツクラブ21城北 交流ウォーキング 行われる <宇治平等院と京都御所の参観>



くっきりと水面に映える鳳凰堂。極楽の宝池に浮かぶ宮殿といわれました。

内部には、中央に大きな阿弥陀如来座像が、周囲の壁面には見事な雲中供養菩薩像が端座しています。

からの参観で紫宸殿、清涼殿、御学問所、御常御殿等の明治以前の皇室の行事が執り行われ、生活されていた施設の数々を参観することができました。

紅葉には少し早かったのですが、晴天で絶好のウォーキング日和でした。

平等院境内に入ると、約千年前（平安期）に建立され、平成の大修理を終えた鳳凰堂が目に入りました。また、色あせてはいましたが、極楽浄土へ導いてくれる多くの菩薩を随行した阿弥陀来迎図等も見ることができました。

静かに見ていると、極楽往生を願う当時の貴族の淨土信仰の純粋な心が伝わってきました。多数の観光客の中には外国人も多く、日本の仏教美術を堪能されていました。

その後、京都御苑内にある御所へ。公開されてはいましたが、内覧できませんでした。でも、外



広い敷地をウォーキングして、満足でした。秋の一日を地域のお友達と楽しく過ごすことができました。

11月
5日(土)

城北地区 人権・同和教育研究大会 行われる

「誰もが幸せに暮らせる地域づくり」を目指してと題して、多くの参加者を得て、今年も開催されました。

古市の宗玄寺住職であり、人権擁護委員の酒井 勝彦様に、「見つめ直そう 日々の常識～今日の自分より明日の子々孫々のために～」と題して、ご講演をいただきました。

「人権」の基礎基本や差別の構図、差別の伝承などについて、具体例（ケガレ、迷信、喪中はがき、六曜、偏見、慣習等）を示しながら、熱く語られました。

噂や言い伝え、マスコミよりも、[自分自身の目で見て、心で感じることが大切]だと理解できました。ぜひ、家庭や地域で広めていきたいものです。

見つめ直そう 日々の常識

私は、日々、常識の中で暮らしています。この常識の中には、非常識なものが一杯あると教えていただきました。例えば、お祝い事は大安で、葬式は反引に当たったときは時間を調整し、先勝や先負は午前と午後に振り分けて物事を行う。クリスマスはするが、花祭りはしない。願いをかなえるため、恵方の巻き寿司を食べる。などなど。このような常識は、一人での改善は難しいですが、多くの人々と一緒に改善できれば住みよい集落になるとと思いました。

（参加者の感想より）

11月
20日(日)

三世代交流グランドゴルフ大会 行われる

「ゴールをねらって打と
うね。」
子どもの手を取つて一緒に
プレーしているほほえましい姿がありました。



前日の雨に、プレーができるのか気をもんでいましたが、私たちの願いが天に通じたのか、約30名の参加を得て実施することができました。

城北畠小学校のグランドをお借りしての、まち協主催の三世代交流グランドゴルフ大会に参加させていただきました。

当日の参加者は30名程度で、特に子どもたちの参加が年々少なくなっていて、少し寂しさを感じました。



今年も昼食をいただき、民生委員や愛育班の皆様のご苦労が身にしみる1日でした。お世話になった皆様、本当に楽しい1日でした。

(グランドゴルフ大会の参加者より)



ゴールだけを見て、打とうとされている瞬間です。見ておられる回りの方々も、真剣そのものですね。

12月
2日(金)

キラキラ星 楽しい一日 ☆たまみずサロン (高齢者の集い)行われる

11月から12月にかけて曇り空が続き、当日の天気が心配でした。が、久しぶりの好天に恵まれ、参加された高齢者の皆さんには笑顔で楽しいひとときを過ごすことができました。



今年で3回目となる「たまみずサロン」は、初めてたまみず幼稚園の子どもたちを招待して、子どもたちと一緒に楽しむことができました。

子どもたちは、一生懸命歌を歌ったり合奏したりして、会場にいる方々に温かい心をプレゼントしてくれました。

クリスマスにちなんだ「赤鼻のトナカイ」や「うさぎの野原のクリスマス」、「サンタさんといっしょに」などの歌を歌ったまみず幼稚園の子どもたち。

続いて、大芋から江坂道雄様をお招きし、その見事な「バルーンアート」に歓声があがっていました。



バルーンアートに続いて、マジックとジャンケンゲームで楽しんでおられる皆様を写真で紹介します。



鍋の具材を揃えるジャンケンゲームに夢中になり、ワイワイ、ガヤガヤと賑やかなこと。その様子をご覧下さい。



がいを感じる瞬間です。これもまちづくり協議会の福祉部の民生・児童委員、民生児童協力委員、福祉委員の方々のおかげです。次回も楽しい企画をよろしくお願い致します。
(スタッフの声より)

その後、お弁当を食べながらのおしゃべりにたくさんのお話の花が咲き、あっという間の3時間半でした。

帰り際に、「楽しかった!! ありがとうございます。」と参加者の口々から出る感謝の言葉は、やり



地区紹介 知足地区

篠山市知足。^{ちそく}初めて目にし「ちそく」と読める方は少ないです。「ちたり」とか「ちあし」、「しるあし」、「ともあし」とか…。

城北の方はご存知でしょうが、知足は丸山と鷺尾に挟まれた山奥に位置します。戸数はたったの15戸で、人口は45名程度（高齢化率40%）。篠山市内の約270もある自治会の中で、43番目ぐらいの少なさです。50年ほど前は18戸で、80名ぐらいいました。今と大差はありませんが、小学生以下が2名となるなど、子どもが減りました。

元気で長生きは言うに及ばず、都市部に出ている子や孫に強く帰省を促したいものです。

山伏の山岳修業といえば、大峰山（奈良県吉野）ですが、実は、篠山の「三岳修験道」も有名になり損ねた歴史があります。現在の知足の山中に「知足寺」があつたらしく、廃寺の礎石の一つが、大賣神社（寺内）に移設されています。



[鎮守の森にあるお宮さん]

由緒ある地名「知足」
知足（ちそく）とは、足るを知ること。自分の身分をわきまえて、むさぼりの心を起さぬこと。^{→禅林句集より}
現実主義者の私は、謂われ、歴史、伝統にはあまり興味を持つていません。
「知足」の域は、不可能です。毎日、「煩惱」と戦い続けています。
(知足の住民より)



[初冬の「知足地区」のたたずまい。]